札幌市立羊丘小学校　学校だより

ひつじがおか

2026年11月（HPに掲載）　　特別号　　☏ 851-9353（平日8:10～16:40）

令和８年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

１学期に全国の小学６年生と中学３年生の児童生徒を対象にした「令和８年度 全国学力・学習状況調査」が実施されました。本調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること」を目的として実施されています。

札幌市では、

【学ぶ力】　自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

【豊かな心】　他者を思いやる心、生命を尊重する心、自然や美しいものに感動する心

【健やかな体】生涯を通じて運 動を親しむための基礎を培うとともに積極的に心身の健康の保持増進を図る資質・能力

上記、資質・能力を中心とした教育の推進を目指しています。本校でも、これらの視点を基にした教育活動を進めております。今回の「学力・学習状況調査」の結果につきましても、全国の結果と比較・分析し、本校の教育活動の充実に生かしていきます。

なお、本調査によって測定できるのは、児童の学力や学習状況の一部分であることを御理解いただきますようお願いいたします。

本校の概要

【国語】

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」	全国平均を大きく下回っている。
□「情報の扱い方に関する事項」	全国平均を上回っている。
□「我が国の言語文化に関する事項」	今年度は調査項目が設置されていません
■「話すこと・聞くこと」	全国平均を大きく下回っている。
■「書くこと」	全国平均を下回っている。
■「読むこと」	全国平均を上回っている。

【今回の調査における課題】と【改善の方向】

◆全国平均を大きく上回っている内容（成果）

＊「考え」とその考えを支える「理由（事例）」の関係を理解する【情報と情報との関係を理解する力】

＊目的に応じて、必要な情報を見付ける【必要な情報を読み取る力】

＊文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる【再構築する思考力】

◆全国平均を大きく下回っている内容（課題）

＊相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるような話の構成を考える【構成を検討する力】

＊資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する【表現力・情報活用力】

＊話や文章の種類とその特徴について理解する【文章の特徴を捉える力】

◇改善の方向

＊情報を見い出す（読み取る）ことはできています。日常の生活や他教科の中で、情報を関連付けて考えたり、効果的に表現したりすることができるような言語活動を採り入れ、文章全体の構成や展開を考える力と表現する力、情報を生かす力を高めていきます。

＊校内研究においても「伝え合う力を高める」ことを主題としており、感想や考えたことなど、自分の考えを表出していく活動を重視し、伝え合う力（コミュニケーション能力）を育んでいきます。

【算数】

□「数と計算」	全国平均を大きく下回っている。
□「図形」	全国平均を下回っている。
□「測定」	全国平均を下回っている。
□「変化と関係」	全国平均を大きく下回っている。
□「データの活用」	全国平均を下回っている。
■知識・技能	全国平均を下回っている。
■思考・判断・表現	全国平均を大きく下回っている。

【今回の調査における課題】と【改善の方向】

◆全国平均を大きく上回っている内容（成果）

＊全体的に大きな項目で見ると全国平均を下回っていますが、部分的に見れば、

・体積の意味についての理解

・小数の仕組みへの理解

・数直線で目盛りを読む

上記内容では、全国平均を上回っています。

◆全国平均を大きく下回っている内容（課題）

＊立方体の「体積の求め方」への理解【体積に対する基礎的な知識】

＊百分率で表された割合、比較量から基準量を求めること【割合に対する基礎的な知識】

＊異分母の分数の大小を判断すること【分数に対する基礎的な知識】

＊式や言葉を用いて論理的に説明すること【筋道を立てて考える力・表現する力】

◇改善の方向

＊児童質問用紙によるアンケートでは、「算数の授業内容がよく分かる」と回答している児童の割合が約67%であり、「分かった」という実感が得られていない児童が3割近くいることになります。「実感が得られていない」＝「定着していない（知識や技能を身に付けてない)」ということにはなりませんが、「割合」や「分数」など、算数における学習の基礎的な知識や技能を身に付けていくことができるよう、朝の活動（朝学習）などの時間を使って習熟の問題に取り組んでいきます。

＊国語と同様に、考えたことなど、自分の考えを表出していく機会を他教科の学習や日常的に設けていくことで、論理的な思考力・表現力などを高めていきます。

【児童質問紙～学習・生活の様子～】

＊ほとんどの項目で、【全国平均と近似値である】または【肯定的な答えを合わせたら同程度】という結果でした。

＊設問1「毎日、朝食を食べている」設問2及び3の睡眠時間に関しては、全国平均を下回っています。生活習慣の見直しに御協力ください。宜しくお願い致します。

＊設問35「５年生までに受けた授業でＩＣＴ機器を使った頻度」、設問36「ＩＣＴ機器を自分の学習に活用できている」では、全国平均よりも高い結果でした。目的に合わせてＩＣＴ機器を効果的に使う力を身に付けてきています。

＊設問53「国語の勉強が好きか」 設問61「算数の勉強が好きか」設問70「外国語の勉強が好きか」の設問において、勉強が「好き」と回答した児童は、全国平均を下回っています。設問20「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。」での肯定的な回答も、全国平均を下回っています。子どもたちの「〇〇したい」という探究的な意欲を喚起し、協働的に課題解決に取り組む良さを実感できる学習を構築することができるように工夫していきます。